



議員でつくる広報

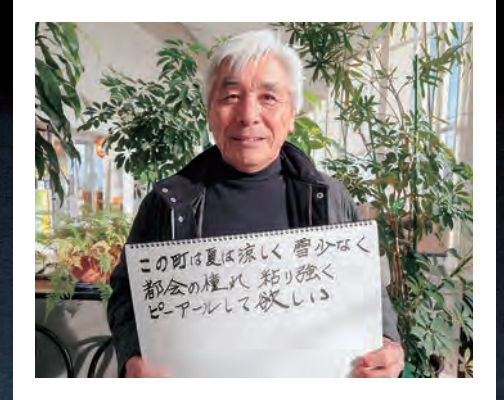
むかわ 議会だより

NO.67
2024.1.31 発行



かま だ れ な
鎌田 怜那さん 18歳

わた なべ あい り
渡辺 愛里さん 18歳



まつ うら まさ し
松浦 政志さん 70代



あけ がわ さと し
明河 怜志さん 30代



❄️ 町に望んでいること

- 2P ~ 決算審査特別委員会
- 6P ~ 12月定例会、第3回臨時会
- 8P ~ ここが聞きたい!! 9人の議員が一般質問
- 18P ~ 委員会報告
- 23P ~ 議会報告会

町内を明るく照らす NPO 法人マージュさんの
手作りイルミネーション

発行 責任者 むかわ町議会
〒064-8860 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地

編集 議会広報委員会
TEL 0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

特別委員会



1 日目

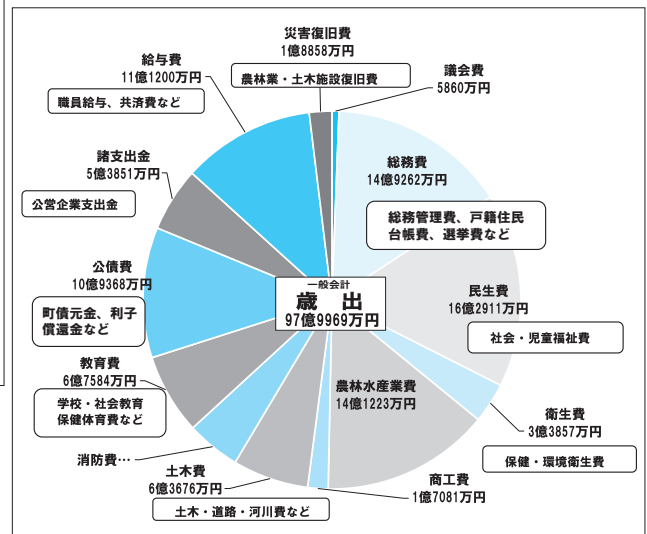
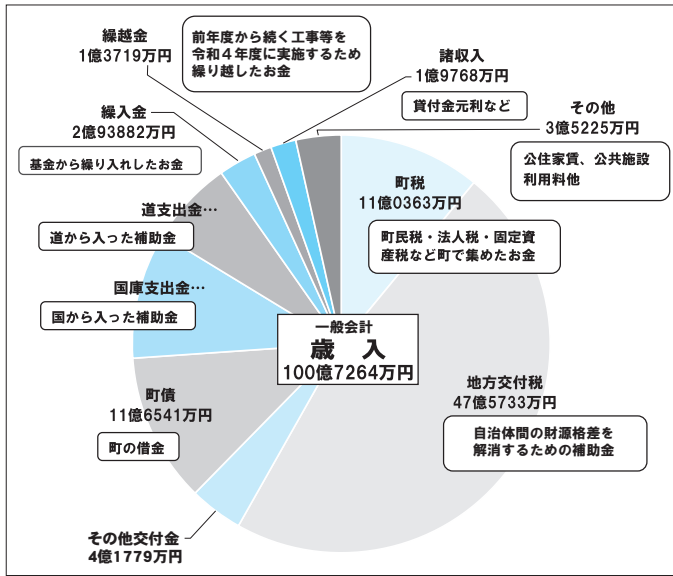


2 日目



3 日目

令和4年度各会計決算審査特別委員会（大松紀美子委員長）が、10月31日から11月2日の3日間、各会計の審査項目数56件を議長、監査委員を除く11名で審議を行い審査の結果すべて認定すべきものと議決しました。



健康診査事業

問 佐藤 守委員、奥野恵美子委員 受診率の現状課題・受診に向けた対策は。

答 受診率は、1〜2割ですが、次年度の予約を行う「自動予約」が定着してきています。子宮頸がん、乳がん検診については、若年者（40歳未満）への受診を広報や個別郵送にて勧奨していきます。

病院事業

問 佐藤委員 前年度対比で当年度純損失が増加した要因は。

答 令和3年度から繰越となった電子カルテシステムの購入と、医療機器をいくつか更新したことです。費用にかかる消費税額が収益分を大きく上回ったためです。

予防接種事業

問 奥野委員 インフルエンザワクチンが不足との情報がありました。受けられなかった人はいましたか。

答 令和2年・3年には受けられない人もいましたが、令和4年は、希望者は全員接種し、残が出た状況です。

敬老会関連事務

問 佐藤委員 鶴川地区参加者減少の要因は。

答 当時の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み（5類移行前）、飲食を伴う高齢者の集いはリスクが高くと判断し、記念品を授与する場として3年振りに開催しました。最大の要因は新型コロナウイルス

まちのお金の 使い道をチェック

決算審査

* 財政力指数：1を超える程財源に余裕があるとされている。当年度は増加傾向にあるが依然として財政力に乏しい。

* 経常収支比率：財政構造の弾力性指標で率が低いほど弾力性があるとされています。

* 公債費負担比率：(公債費償還一般財源÷一般財源収入額×100) 比率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示すとされ、一般的に15%が警戒ラインです。交付税算入の増加により現在は補助的役割となっています。

主要財政指標の年度別推移

区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
財政力指数	0.23%	0.23%	0.23%
経常収支比率	89.10%	88.00%	90.00%
公債費負担比率	14.80%	14.70%	16.80%
実質収支比率	4.60%	4.50%	3.70%

* 実質収支比率：実質収支の水準を判断する比率で、3～5%程度に黒字が良いとされています。



命と財産を守る消防団員

胆振東部地震 対策基金積立金

問 栗原健一委員 4億円
の用途及び時期は。(令和
4年度末残高4億768万
円)

ウイルス感染症にあると考
えています。今後開催
方法などに工夫をこらし、
敬老会を行っていきます。

答 平成31年に胆振東部地
震からの復旧及び復興に要
する事業並びに、災害に強
い安全なまちづくりの実現
のための事業に充てるため
に設置されました。
令和5年度執行の旧鶴川
消防庁舎の解体事業に充当
すること、今後実施して
いく、まちなか再生事業全
般に充当します。

持続的畑作生産体系 確立緊急対策事業

問 佐藤委員 水田活用直
接支払交付金にプラスされ
ることですが、農業者
への周知は。

答 ビートから需要の高い
作物に転換し作付けした時
1回限り交付されるもので
す。
令和6年度以降の交付単
価や内容については、国よ
り今後示されると考えてい
ます。

森林経営管理 意向調査

問 東 千吉委員 3年計
画で行った調査の整理は。

答 意向調査の結果を踏ま
えての現調査は、まだすべ

て終わっていない所もありません。

さらに調査に回答のない方への対応など、森林の再生の加速化を図るために課題を整理し、次の施策に向け調査を続けて行きます。

しししゃもふ化場

問 東委員 一番大事な資源の確保ですが、親魚確保の場所や時期について見直しの工夫は。

答 ふくべ網手法により水産試験場のOBなどを中心に、場所や時期についての指導のもと、効率的な捕獲に努めています。

ストレスチェック

問 佐藤委員 教職員のストレスチェックと、長時間労働の是正は。

答 通常の健康診断とは別にセルフチェックで実施しています。

検査結果で高リスクがある職員がいる場合は、教育委員会に通知されます。

働き方改革として、事務的作業の負担軽減のためにスクールサポートスタッフが配置されています。

また、部活動の地域移行体制への検討整備を進めています。

まちなか再生事業

問 北村 修委員 事業費の流用は。

答 当初計画段階で、まちなか復興賑わい創出事業補助金で使う目的で5万1、000円ほど流用しましたが、事業の精算の段階で戻入れをし、不用額が発生しました。

復興拠点施設等整備事業

問 栗原委員 委託料3、000万円の内容は。プロポーザルについて、(株)船場の他に何社ありましたか。

答 委託業務は、エリアデザインの商品品です。

プロポーザル審査、プロポーザル提案からの協議、検討の経過を含め、各種資料約300ページを超えるものです。

図面関係の作成、ポーリング調査の結果等々も含まれています。

エリアデザイン業務についての業者は1社となっています。選定理由等は業務実績等をプロポーザル審査会で評価をし、決定しています。

問 栗原委員、北村委員 (株)船場を選んだ理由は。

答 実績は、鉄道博物館などですが、あくまでも町で選定基準を定めた仕様に基つき応募してきています。

今回は、博物館だけでなくエリア全体のデザインという部分も含んでいます。

観光振興対策事業

問 佐藤委員、中島 勲委員 観光協会の補助金の内訳は。協会と町との約束事は。

答 1、913万円の補助金を支出し、人件費部分は、1、573万円です。

観光部分では町の窓口という思いもありますが、協会は法人ですので、町が会社の経営に手を入れることはできません。補助金を出している部分では観光に対してやってくださいという事は、常日頃から話しています。



むかわ産のおいしい野菜

問 北村委員 観光協会への一定の指導を含めた役割があるのでは。

答 昨年も監査をして、補助金の使い道としては概ね問題はありません。

ふるさと納税 指定寄附金

問 中島委員 指定寄附金の内訳及び用途については。

答 企業版ふるさと納税として、17件、1,730万円の寄附となっています。

むかわ町の場合は、寄附対象事業を5点に絞り、その事業に活用し、ふるさと納税を通じて応援してくれる企業が増えています。

昨年11月から、町に関わりのある企業に対して企業版ふるさと納税の周知を行い、活用方法、制度等々の

パンフレットを同封し、送付しています。

問 北村委員 ふるさと納税の町に残る金額については。

答 令和4年度のふるさと納税での基金積立額としては2,919万円です。

ふるさと納税が原資となる基金を活用し、各事業の継続を行っています。

情報

問 栗原委員 町ホームページの委託先及び閲覧者数の推移については。

答 サーバーの管理、アップデートなどを業者に委託し、その他は職員が行っています。現在の管理は各所管が行っており、今後一定のルールづくりが必要と思います。

タウンプロモーションプロジェクトが始まっており、今後ホームページの在り方について議論が行われていくと考えます。

問 古内みゆき委員 庁内リモートワークの現状は。

答 業務効率化と柔軟な働き方の実現に向けた取り組みを進めており、職員全員にZoomを貸与し情報アクセシビリティが容易になっています。

コロナも5類になり自宅での業務は難しいですが、そういう状況になった場合の検討もしています。

防災

問 奥野委員 防災意識の向上対策は。

答 避難訓練を実施し、防災意識向上を図り、災害時

の避難行動への備えができたと考えます。

自主防災活動推進事業補助金を交付し、非常時に使う物品、食料などを調達し、更新しています。

問 佐藤委員 災害の際に高齢者を避難させるあり方は。

答 気象庁で雨量解析が出来る、開発局で河川の水位を精密に図ることが出来ます。レベル3に行く前に高齢者等避難を出すことは可能です。

まちづくり

問 佐藤委員 地域力創造アドバイザー、地域活性化起業人への委託料の内容は。

答 多様化した課題解決に向けて、各種人材を招聘し、総務省の示す制度により委

託料として支払っています。官民連携により、事業の推進につなげていきます。

企業人の選定は町からお願いしたり、先方の企業から連携を提案されるなどを通してマッチングしています。

問 栗原委員 ㈱ワンテールが地域活性化企業人として選定された理由は。

答 総務省のリストの中で創造的復興に関わるアドバイザーのリストからピックアップし、東北での実績を考慮し選定しました。その後、不適切な発言や事業手法の問題、社長退任などを報道で分かりましたが、令和4年度で完結しており、令和5年度は新たなアドバイザーをお願いしています。

第4回議会定例会

令和5年度第4回定例会は、12月12日(火)・13日(水)の2日間で開催しました。町長から提出の議案8件、議員等から提出された認定7件は全て可決。意見書2件、決議案1件は全て否決され、その他、所管事務調査の報告があり全て可決されました。

報告・認定・議案審議結果

抜粋により報告とします。

※詳しくはYou Tube「」視聴ください。



【議案】	【内容・金額】
むかわ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うもの。
令和5年度むかわ町一般会計補正予算(第7号)	既定予算額に2億900万円を追加歳入歳出予算 総額99億273万円
令和5年度むかわ町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	既定予算額に22万円を追加直診勘定歳入歳出予算 総額11億9,010万円
令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	既定予算額に80万円を追加歳入歳出予算 総額9億3,084万円
令和5年度むかわ町一般会計補正予算(第8号)	既定予算額に1,925万円を追加歳入歳出予算 総額99億2,199万円
【議員等からの提出 認定7件】	決算特別委員会に審査が付託された令和4年度各会計決算を認定
【意見書案第13号】 提出者 大松紀美子議員 【意見書案第14号】 提出者 大松紀美子議員	議決結果 賛成6 反対6 (可否同数により議長は否決と採決) 否決 議決結果 賛成2 反対10 否決
【決議案第1号】 提出者 北村修議員	議決結果 賛成6 反対6 (可否同数により議長は否決と採決) 否決

補正予算

Ⅱ主に注目された議論Ⅱ

◇一般会計補正予算(第7号・8号)

◎復興拠点施設等整備事業Ⅱ
 予算額 3,135万円
 (マーケットサウンディング業務 715万円
 エリアデザイン業務 2,420万円)

鷗川地区のまちなか再生の取り組みについて、まちなか再生基本計画に基づき、7つの拠点を中心に一体的な活性化を図っていくこととし、民間事業者の意見や新たな提案等を把握するための委託料。

問 佐藤 守議員 復興拠点Ⅱの整備の中に、町営キャンプ場の設置を考えられませんか。

答 まずはマーケットサウンディング業務のヒアリングという形で事業を進める予定です。その中で、住民

の意見を聴取する機会も設けていますので、検討します。

問 大松紀美子議員 この時期に提案になった最大の理由は、事業の進め方と異なる手法、事業推進とは。民間事業者が5〜10社来る根拠は。予算は。

答 町長の執行方針でも明記しています。総務省の地域力アドバイザーの助言をいただき、その中で鷗川地区における特異な情勢、特殊事情、事前復興計画を含め、取り巻く環境が変化している点から、この時期になりました。

事業検討段階において、民間事業者の新しいアイデア提案を活用して、事業スキームを構築していきます。

最低5社は見込んで、競争を促したいという思いで記載しています。予算については、今の時点では出せません。

問 北村 修議員 今回の3、100万円余りの予算

で、設計委託料はどのようになっていますか。

答 マーケットサウンディング業務は、民間事業者ヒアリング、住民の合意形成支援等といった内容です。エリアデザイン業務は、各拠点整備の方向性の整理、全体のスケジュール設計です。

さらには個別拠点整備の具体化の検討、基本設計仕様書の作成がエリアデザインの内訳となっています。まちなか再生計画、復興計画、まちなか再生計画も最終年度は、令和7年度としています。

全ての事業を7年度末までとしてエリアデザインと並行しながら、今ある各種計画の点検検証も含め、適正財政に努めていきます。

◎恐竜化石を活かしたタウンプロモーション事業

予算額 512万円

予算内訳

●カムイサウルス・ジャポニクスレプリカ運搬設置費

327万円

●公式キャラクター着ぐるみ(エアータイプ)製作費

110万円

●PR活動物品購入費

75万円

◎物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業

予算額

1億1,119万円

●物価高騰の負担が大きい住民非課税世帯に対して、生活・暮らしの支援を行うため、現金を支給。

(令和6年1月支給開始予定)

1世帯あたり7万円支給

(1,300世帯対象)

●その他、事務費

93万円

●むかわ得々飲食券消費活性化事業

1,338万円

●物価高騰による給食費無償化支援事業

587万円

【意見書等】

◎提出された意見書(案)・決議(案)はすべて否決されました。

意見① 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書(案)

提出・大松紀美子議員

【反対討論】

古内みゆき議員 国は司法権の独立を犯す可能性があるとして、真剣な討論を進めるとしてのことから反対とします。

【賛成討論】

中島勲議員 日本では差別撤廃条約は1985年に議決されていますが、権利の侵害を解決するためには議定書の締結が必要なことから賛成とします。

意見② 刑事訴訟の再審規定の速やかな改正を求める意見書(案)

提出・大松議員

【反対討論】

栗原健一議員 意見書には充分な議論が必要だと考えることから反対とします。

【賛成討論】

北村 修議員 証拠開示の規定が不十分なばかりに再審が行われず、無罪の方の命が失われまた罰せられる事態が起きており、一日も早い改正を求める立場から賛成とします。

決議① パレスチナとイスラエルの市民を狙ったすべての暴力行為を非難し、即時に人道的休戦を求める決議(案)

提出・北村議員

【反対討論】

奥野恵美子議員 市民を狙っている暴力行為と位置付けるのは適当なのか疑問があり、文言は妥当と思えないことから反対とします。

【賛成討論】

小坂利政議員 平和の町宣言をしている地方議会の議員として、小さな所から声を上げ、世界平和を追求する立場から賛成とします。

※意見①と決議①は可否同数により議長が否決で採決

第3回議会臨時会

11月28日に開催し、報告3件、議案7件を可決しました。

報告・議案審議 結果

抜粋により報告とします。

※詳しくはYou Tubeで「視聴ください」。



【議案審議】

動産売却契約の締結に関する件(鉄路売却代金)

発生鋼材

35,965,600円

指名競争入札

(株)マテック苦小牧支店

【問】小坂利政議員

当初の予定金額は1,952万円ですが、何を参考にして予定価格を決めましたか。跡地活用の考えは。

答 レールは指名業者4社から見積もり、一番高い予定価格から算出しました。

その後、入札競争において当初より高い金額となりました。跡地利用は今後の課題です。

一般会計補正予算(第6号)主に注目された議論

●母子保健推進事業

保険適用後の自己負担分に対して独自助成を行うものです。

●不妊治療等助成事業

83万2千円

●ししゃも加工販売支援事業

62万円

発送料金を支援するものです。

【問】大松議員

加工会社の選定は。ししゃもを扱う飲食店への支援は。

答 インターネットが使える加工会社を選定しています。飲食店には今後、商工会と協議していきます。

むかわ町のここが聞きたい!!

12月定例会では、9人の議員が22件の一般質問を行い、活発な質疑を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、9ページから17ページです。

9ページ 大松 紀美子 議員

- 鶴川中学校野球部が休部していますが
- 運動部活動の地域移行は
- 夢叶輪公営塾の一番の目標は
- 観光行政推進の考えは

14ページ 古内 みゆき 議員

- 学生向けの就活サイトを利用し関係人口を増やしては
- P R大使の募集方法、選定基準は
- むかわ町を紹介するチラシについて

10ページ 中島 勲 議員

- 鶴川橋撤去は
- 四季の里・豊城地区住宅分譲地について

15ページ 伊藤 恵美 議員

- 穂別診療所の現状は

11ページ 東 千吉 議員

- 带状疱疹ワクチンに接種助成を!
- ししゃもの親魚は何匹?

16ページ 北村 修 議員

- 臨時交付金均等割世帯まで広げ活用を
- 次期介護保険計画に事業者・町民の要望を
- 復興整備に住民要望を実施計画で対応としていたが

12ページ 奥野 恵美子 議員

- 部活動地域移行と運動教室への支援を
- 目に見える防災対策とまちの再生は

17ページ 津川 篤 議員

- 自主防災組織の管理は
- 新規就農者対策をするにあたり経済団体との連携は

13ページ 栗原 健一 議員

- さくら認定子ども園の建替が求められますが
- 空き家の公営住宅の見直しを
- 穂別地区商店街のメタセコイア管理、支援は

※紙面の都合上、掲載していない質問項目もあります。

QRコードで簡単アクセス



各議員の一般質問ページにあるQRコードを読み取ると、動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」で、録画映像をご覧いただけます。

※動画を視聴する際の料金は無料ですが、スマートフォン等のデータ通信料が発声しますので、予めご了承ください。

※サイト上に掲載されている広告等はむかわ町と一切関係ありませんので、広告の閲覧等によって受けた損害等は、いかなる理由でもむかわ町では責任を負いません。

鷓川中学校野球部が休部していますが

生徒の希望があれば再開します

部員が不足の場合は合同チームを模索すると思われ
ます。

運動部活動の 地域移行は

体制づくりを 進めています

問 中学校の土日の運動部活動の地域移行への考えは。地域移行を支援したいと考える方々がいますが、協力を頂く考えは。

答 令和7年度末をめどに、部活動の地域移行に向け、体制づくりを進めています。既存団体の方々との協議も進める考えです。

答 生徒及び保護者の希望を踏まえ再開など適切に対応します。

問 休部になっている鷓川中学校の野球部は、希望する生徒がいる場合は再開できると聞いています。部員が不足の場合は、他校との合同チームを作り、大会などへ参加する学校がありますか、町の考えは。



未来の大谷翔平選手

夢叶輪公営塾の 一番の目標は

通常の進学塾の 方式ではありません

問 夢叶輪公営塾は、日常に学習を受けられる環境の

提供と保護者の負担軽減が一番の目的ではないかと考えますが。

子どもたちの希望に沿った公営塾を願っていますが。

答 公営塾は、通常の進学塾のような方式ではなく、生徒一人一人の自主学習のサポートを行うなどの運営をしています。

現在の形が良かったと考えます。

観光行政推進の 考えは

「町観光推進会議」を 立ち上げます

問 町の観光行政を担う観光協会と町は一心同体であるべきと考えますが。観光協会と地域商社との観光行政のすみ分けをどのように考えますか。

行政の力で、お互いの特色を生かし発展する事が望ましいと考えますが。

答 観光協会、地域商社のいずれも町の中核となる組織と考えています。

町の観光指針を推進するために、町がリーダーシップをとり、「町観光推進会議」を立ち上げ、連絡・連携を深めたい考えです。



おおまつ きみこ
大松紀美子 議員
OHMATSU KIMIKO

鶴川橋撤去は

具体化をします



なかじま いさお
中島 勲 議員

NAKAJIMA ISAO

測量のデータがそろったところで町、漁協、河川管理者等あらゆる方面の方々と協議をして撤去を具体化します。

問 町民説明会で意見、要望が出ていましたがこれらは室蘭開発局に伝わっていますか。

答 住民から意見が出された大橋西側の花園一号道路については、地震以降通行止めになっているので地震前に戻すよう時間はかかると思いますが、開発局と協議を進めます。

問 大橋撤去に付随して西側の取り付け道路改修は町と開発局の区分があると思



鶴川にかかるまちのシンボル

いますがどのようなになっていますか。

答 大橋の付近から洋光の方に抜けたり、花園の方に降りたりする道路の改修は開発局と協議が必要と考えられています。特に花園の方々の強い要望であれば、国、道、開発局と協議しながら進めなければならぬと思っています。

四季の里・豊城地区住宅分譲地について 残りは一区画です

問 未販売の区画は何区画ですか。

答 開設時は十一区画でしたが現在残り一区画となっています。

問 平成十二年から定住促進を掲げ住宅地分譲を始めています。この分譲地は一区画二百坪という大きな面積ですが、当時普通財産として管理する内容でした。現在の管理形態はどのようなになっていますか。

答 普通財産として管理しています。

問 市街地での民間アパート建設が進んでいる現状に鑑み、分譲価格を当初販売価格に戻して然るべきと考えますが如何ですか。

答 豊城分譲地の価格については上げるといいう考え方はしていません。

問 本事業の収支はどのようになっていますか。

問 平成二十一年に売却坪単価を一万五千円から九千円に値下げして販売していましたが、現在はどのようになっていますか。

答 公社の解散に伴い移譲されたものであり、収支につきましてはその時点で解決しています。

答 平成二十一年以降変更はしていません。

問 本年二月に町民説明会が開かれました。それ以降撤去時期、工事施工等について北海道開発局とどのような協議がなされていますか。

答 鶴川大橋橋梁前後の安全な道路改良を優先課題として、町と開発局が鶴川橋周辺の地域形状把握の測量等道路改良基本計画の策定を進めています。

带状疱疹ワクチンに接種助成を！

任意接種なので、全額自己負担となります



あずま ちよし 議員
東 千吉 議員

AZUMA CHIYOSHI

問 自身も带状疱疹の罹患者の1人です。2年5ヶ月間苦しめられ、今もその症状は続いております。日本人の90%以上が発症の可能性があり、80歳までに約3人に1人が発症しています。公費負担軽減と町民の安全生活のためにワクチンの接種費用助成を。

答 任意接種ワクチンのため、他のワクチン同様、全額自己負担での接種となっています。

問 全国自治体の約2割がすでにワクチン補助を決めています。年度内に約400強自治体が予定しており、高齢化が進むむかわ町は、他の自治体に遅れをとって



いつまでも健康で

はならないのでは。

答 先例自治体の取り組みを精査し検討します。

ししゃもの親魚は何匹？

親魚は2,591匹、稼働率は5.8%です

問 今年度の親魚の確保と稼働率はどれくらいですか。

答 ふくべ網3基で搬入した収容尾数は2,591尾で、5.8%です。

問 ししゃもの回帰率は4%、資源調査では昨年を大きく上回っていると聞いていましたが、協議会を設立されているのに、迅速に連携を密にしていたら、より多くの親魚の確保ができたのでは。

答 水産試験場、栽培水産試験場の方で試験していて、まだ公表していないので我々もおさえておりません。漁協と連携しながら、どう親魚の捕獲していくか検討していきたい。

部活動地域移行と 運動教室への支援を

可能な限りバックアップします

問 部活動地域移行活動状況と今後の取り組みは。

答 総合型地域スポーツクラブPNPO法人むブを中



おくのえみこ
奥野恵美子 議員

OKUNO EMIKO

核団体とした体制づくりを進めており、次年度以降も積極的に取り組んでいきます。

問 野球部の部活が復活された時の土日の対応は。

答 様々なケースが出てくると可能性がありますが、学校そして、既存団体むブ等を含め連携を密にして体制づくりをしていきます。

問 スタッフ不足と委託料減少の現状把握と予算協力へ考えは。

答 地域おこし協力隊2名の配置を予定していますが、全国的な地域移行の流れの中で同じことを考えてい



むブカツでバレーボール

る市町が非常に多いこともあり、応募がありませんでした。

今後も募集を続け人材確保に努め、要望を可能な限り実現できるよう努めます。

目に見える防災対策と まちの再生は

リスクを考えた防災指針を設定

問 立地適正化計画における防災、減災への課題整理と進捗状況は。

針を設定し計画を策定します。

答 事前復興計画、立地適正化計画、まちなか再生が同時並行的に動き、先行するのは、事前復興計画と立地適正化計画です。

現在は人口、公共交通、生活に必要な施設などを合わせた都市構造と防災、減災に関する課題整理の段階です。

令和6年の1月から、都市づくりの方針として、居住誘導区域と都市機能の誘導区域を、さらに防災減災に関して災害のリスク回避と、リスク低減という二つの考えを重点とする防災指

問 町民の防災意識は高まっています。避難道路の整備など目に見える取組を。

答 今後の具体的な策定方針や立地適正化計画における居住誘導区域などに、改めて今のまちの姿を見つめ、避難道路の必要性和町の安全水準などの考えを基本として、事前復興計画の中に加味されていくものと考えています。

さくら認定子ども園の 建替が求められますが

協議され次第、 園舎を譲渡する考えです

問 公共施設等総合管理計画で、さくら認定こども園の劣化状況がCランクです。修繕箇所も年々多く、町として建替についての考えは。

答 令和4年度より公私連携型として民営化し、土地建物は無償貸与の形で協定を交わしています。施設整備は、国の交付金を活用しながら、運営法人において取り進めています。

今後、協議され次第、園舎を譲渡する考えです。

園舎の老朽化については、町も把握しており、独自運営支援として修繕費の補助を実施しています。

今後、園側が計画を立てた段階で、最善の譲渡をする考えです。

空き家の公営 住宅の見直しを

用途変更は可能、 慎重な対応が必要

問 現在の公営住宅の空き物件数は。

答 公営住宅の空き物件数は75戸です。

鶴川地区	6戸
穂別地区	67戸
特公賃	2戸

問 公営住宅用途の見直しをかけ、みなし特定公共賃貸住宅に変更をかけることはできませんか。

答 本来の公営住宅入居対

象者を阻害しない範囲内として、用途変更の見きわめには慎重な対応が必要と考えています。

穂別商店街の メタセコイア 管理、支援は

商工会内部での 取扱いを優先し ます

問 秋の落ち葉清掃が町民の負担になっています。

メタセコイア樹木をどのように考え支援しますか。

答 平成元年度に穂別ホッピー通り商店街協同組合と道路管理者、当時の室蘭土木現業所との間で確認書が交わされ、枝払いや清掃等の維持管理については、組合において責任を持って実施することとされており、この趣旨は商工会へと引き

継がれています。

これまで商工会が中心となつて、地域のシンボルともなっているメタセコイアの維持管理に御尽力をいただいております。町としても支援策として、商工会を通じて落ち葉収集用ごみ袋の配布を行っています。

ゴミ袋支援67件に対し650枚配布しています。予算措置額5万2,000円です。



栗原 健一 議員

KURIHARA KENICHI



元気を届けます

学生向け就活サイトを 利用し関係人口を増やしては

職員確保に対応していきます



ふるうち
古内みゆき 議員

FURUUCHI MIYUKI

るよう対応していきます。

問 町内企業も学生の採用に苦心していると伺っています。

答 全国の学生の93%が参加するインターンシップを、就職のナビサイトを使い、就場の仕事だけでなく、農業や漁業、町の企業などで仕事をしてもらい、関係人口を増やしていくことは考えられますか。

問 他市町でも学生向けに就活サイトを利用して、採用活動をしていますか。

答 他市町でも学生向けに就活サイトを利用して、採用活動をしていますか。

問 就活サイトの活用も含め、有能な職員を確保でき

答 新規就農のお試し、農業を勉強している学生などを受け入れるための短期宿泊施設を作っていく必要があるのでは。

問 短期宿泊施設関係については、農業に限らず移住定住スポーツ合宿、高大連携、官民連携など、他分野でニーズがあることは承知しています。宿泊施設の運営方法、空き家活用、民間アパートの借上げによる対応など協議を進めています。

答 全国から募集することで、関係人口拡大という部分でリンクしてくると思いますので、対応していきます

問 ラピダス関連、地域おこし協力隊インターンシッ

答 ラピダス関連につきましても、半導体関連企業の動きを含めた従業員の住宅ニーズ、必要とする人材などの情報収集に努めていきます。

問 インターシップの募集を通じて、全国の学生にスカウトメールを送り、むかわをアピールし卒業旅行で来てもらうという提案をしたと思いますか。

答 現在、職員が不足しており、確保したいという思いがあります。いろいろな手法を使いながら人材確保に向けて研究をしていきます。仮に役場に就職しなくても、むかわ町のことを知ってもらうことで関係人口が生まれ人口増に繋がっていくと思います。

PR大使の 募集方法、 選定基準は 選定基準はありません

問 むかわ町応援PR大使の募集方法及び選定基準は、今後の方向性は。誰もが納

得するような基準があるべきでは。

答 現在1人で、町のイメージアップが期待でき、本人の同意を得て町長が委嘱します。明確な基準はありません。他にむかわにゆかりのある方にも同意してもらるようにしていきます。

問 むかわ町を紹介するチラシを作製する考えは。

答 展示会に出展する際に作成しています。今後、移住相談会などで施策を横断的に紹介できる内容に充実させる必要があると考えています。



穂別診療所の現状は

看護師不足により12月29日より病棟休止。 看護師確保に努めます。



いとう めぐみ
伊藤 恵美 議員

ITO MEGUMI

問 看護師不足により、再度病棟休止を懸念していたところ、12月29日以降休止決定の報告を受けました。

問 12月4日現在、看護師12名のうち正職員6名、派遣看護師6名ですが、在職看護師の半数を派遣看護師で補っている状況についてどのように捉えていますか。

答 本年度当初から職員の募集は随時行っていますが採用に至っていません。全国的な傾向でもありません。補う対策として派遣看護師を採用しています。今後も募集活動を継続し看護師確保に努めます。

問 10月末現在、穂別地区2、244人にとって必要不可欠な唯一の医療機関として、どうあるべきと考えていますか。



答 真心のこもった良質なサービスを提供し、住民の健康を守るを経営理念として、保健・医療・福祉と連携して持続的に守っていく必要があると捉えています。

問 コロナ禍以降、看護師の働き方も大きく変化し派遣型が主流となっています。看護師の労働環境の見直し

を主体に、どのような取り組みをしていますか。

答 住宅の内部整備・Wi-Fiの整備を行っています。

問 令和4年以降、看護スタッフの働き方は修正され、本来あるべきケアが出来ているようです。

しかし、仕事上の問題を上司や行政に伝えられない場合もあります。早急に対応できる方法は。

答 毎週木曜日に管理職会議をして、現状の確認をしています。悩みごとの部分では精神科の中塚医師に協力して頂きます。

総務グループに衛生管理者保健師もいるので対応できます。

入院が必要な患者の要請は主に鶴川厚生病院に依頼するのですか。

答 入院は鶴川厚生病院に依頼する承諾は事前に行っています。

問 今後の看護師採用にあたり、技術的スキル・精神的スキル・地域医療に対する意識を見極めた人選を希望しますが。

答 今後においても、関係者間の共通認識・情報・意識の共有を大切に、運営体制の検証と、実効性のある対策を早急に講じるよう、要望・提案に努めます。

臨時交付金 均等割世帯まで広げ活用を

国、道の動向を注視、適切に対応する



北村 修 議員
きたむら おさむ

KITAMURA OSAMU

福祉灯油事業を昨年並みの価格に引き上げること。②「非課税世帯」だけでなく（町独自で）非課税から均等割世帯（約260世帯）まで引き上げ支援すること。③ 厳しい営業となっている飲食店支援事業を早期に進める等を求めますが。

答 福祉灯油の引き上げについては、北海道で「地域づくり総合交付金」の基準額引き上げ情報が来ており、適切な対応をします。

問 経済対策の地方創生臨時交付金が物価高騰支援として示されました。臨時交付金の推奨事業メニュー分を物価高騰から住民の暮らしを守る取り組みとして①

飲食店支援の事業は、今議会追加議案として提案します。

次期介護保険 計画に事業者・ 町民の要望を

介護人材など サービスの 基盤整備が課題

問 第9期計画の方向、課題について、利用者の声をどう捉え反映しますか。

答 高齢化率の上昇で、認定数の増加、介護サービスが定員上限に近くなっています。介護人材確保を含めたサービスの基盤整備が課題です。

問 入浴支援、在宅介護のヘルパー充実が必要では。

答 ご指摘の通りで、特に四季の館等にいかれなくなった場合など保険外でも対応できる場を増やします。

問 ホームヘルパーが少なく在宅介護が難しいとされていますが課題をどう捉えていますか。

答 ヘルパー事業は、介護報酬が低く、地域が広いと

移動も長く、事業として、難しさが多いと考えます。

問 後期高齢者連合からの「保険・介護予防一体的委託金」の活用は、介護事業等財源に充てるべきですが。

答 保健師を増員し、介護グループに配置で対応しています。

復興整備に住民要望を 実施計画で対応としていたが！

最適事業者と 協議をしながらすすめます

問 復興整備計画1で基本設計後、住民から温泉移設等で意見がありました。実施計画で対応していたが、どうなりますか。

答 既存博物館改修への事業費を示すべきですが、

答 最適事業者、コンソーシアムの事業者とどこまで

答 最適提案者と締結に向けた協議で進めます。

自主防災組織の管理は

各組織で適正に管理しています

問 鶴川地区での自主防災組織にて管理されている備品の取り扱い。食料品等は数か月に1度の点検が必要では。

答 自治会町内会単位ごとに組織されており、補助金を交付する際、事業計画書を提出いただき、発電機、テント、医薬品や非常食などを購入しています。自治会町内会で独自に整備している物等は把握していません。町で補助金を活用した備品に関しては、補助金の実績報告時に書類審査しています。補助事業で取得した備品等は、各組織で適正管理しています。

問 市街地で安全に避難できる場所は。

答 指定緊急避難場所は、7ヶ所あり、津波発生時の避難場所は、浸水区域外へ水平避難してもらうことです。自動車での避難ルートを6ヶ所作成し、各自治会町内会に説明会を順次開催しています。

問 町職員の役割分担は。

答 津波警報発表時の避難には、自主避難を原則とし、自主防災組織を定め、避難してきます。支援が必要な方は、本人の親族、または自主防災組織が担当しています。避難誘導は、消防機関の活動で、町職員は、速やか

かな災害対策本部の設置、避難指示の呼びかけ、浸水区域外の避難所開設に係る職員の派遣です。

新規就農者対策を するにあたり経済 団体との連携は 対策を推進して いきます

問 後継者問題の考えは。

答 経営成績については良好であるものの、過去の大型投資や、災害などによる借り入れなどが課題となり円滑な移譲に支障をきたしています。令和4年度にむかわ町担い手経営改善資金

利子補給事業を創設し、令和5年度から親元に就農した際に、新規就農と同等の資金援助という支援策を拡充しました。後継者の確保と育成にも努めています。親元に就農を希望すること、経営がしっかりしていること、農業に対して魅力があることが前提でその施策を進めていきます。

問 新規就農者対策の考えは。

答 むかわ町地域担い手育成センターを中心に事業を推進しており、新規で農業を志す人材の募集活動、農業者を育成していくための研修事業を行っています。これまで13組の独立就農者を輩出しており、今後も各方面と連携し、新規就農対策を推進していきます。

問 経済団体との連携は。

答 農業振興対策協議会を設置し、農業政策の推進を図っています。今後も課題に対し取り組んでいきます。

問 企業誘致を促進するため、農振除外地域を作っておく必要があるのでは。農地のだぶつき、引き取り手がいないことに対して対策は講じていますか。今13組の新規就農者が出て、成果も出てきていると思います。が農業所得今年は51億を超え町税の40%を占めています。応えていくような行政農業対策を進めて欲しいと考えています。

答 企業誘致の促進に向けた農業振興地域の取り扱いは、法律に基づき地域の指定を行っています。企業誘致等により農用地内に整備の希望が生じた場合には、制度に基づき対応を図っていきます。概ね5年ごとに見直しを図っています。



つがわ あつし 津川 篤 議員
TSUGAWA ATSUSHI

委員会報告

総務厚生常任委員会

計画の策定は令和5年度末になり、課題解決はまだまだ先に・・・。

【調査日】令和5年11月16日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

地域交通計画の策定状況について

調査の経過と結果

※説明要旨

地域公共交通計画の策定に際し、2つの拠点市街地と点在する農村集落、バス利用者が極端に少ない路線、高齢者や高校生の移動に不可欠な公共交通などといった現状・課題点を踏まえ、次のように課題を捉え、基本目標及び事業を設定。

【課題】

地域公共交通ネットワークの再編、運行サービスの最適化と乗り継ぎの改善、高齢者等の移動支援と外出機会の増進、高齢者や観光客など誰もがわかる情報発信、公共交通の利用促進、地域の拠点づくりとにぎわいの創出、人口減少化での地域公共交通の維持、新たな地域公共交通による交通不便地域の解消。

主な質疑と回答

問 地域的に交通の便利性が悪いが公共交通利用頻度を高める手法は。

答 穂別サポート交通の実証実験を行いました。公共交通においてもDXの観点で業務を促進することは十分可能性があります。

問 タクシーの利用への支援により、タクシー事業者の経営安定化ができるのでは。

答 交通事業者への支援により存続面で経営の維持に繋がるが、運転手の確保が非常に深刻であり、そういった観点で町としての支援も必要になってくると考えます。

問 JR日高線の存続での利用促進等は。

答 また、町全体での議論、各町との連携が必要では。

答 アクションプランの中

でイベントに合わせた商品券など広域自治体での取組が行われています。

問 広域連携で公共交通の利用促進カードなど自治体の特産品を抽選によるプレゼント等の実証実験を取り組んでいます。

問 鶴川駅を拠点とした宣伝等は。

答 JR鶴川駅は町の顔でもあり、ここを拠点として情報発信できるようにすることも検討が必要と考えます。

町民会館及び生活館の管理・運営について

調査の経過と結果

※説明要旨

●生活館は、12館（鶴川地区5館・穂別地区7館）を有し、葬儀利用及び自治会活動等で、年間約1,000人程度が利用しています。イモツペ生活館・穂別中

央生活館を除き年間約100人程度の利用があります。施設の老朽化が激しくなっています。

●町民会館は、5館（鶴川地区3館・穂別地区2館）を有し、自治会・町内会活動・葬儀利用・各スポーツ団体及び自治会活動等で約1,000人程度の利用があるム・ペツ館及び富内銀河会館を除き約300〜500人に利用されています。

●穂別地区の町民会館では、検診会場・選挙会場としても利用されています。

●管理内容は、利用申請の受付・施設の清掃・施設の施錠・除雪等のほか鶴川地区の会館では施設・付属設備・備品管理等を含めて、自治会又は自治会が選任する管理人に管理を委託しています。

主な質疑と回答

問 老朽化する生活館に関して、人口が減少する地域では利用頻度も減少しているが、統合あるいは廃止等の長期的な計画は。

答 自治会の意向が大切ですが、現段階で統合・閉館の計画はありません。

問 町民会館・生活館の管理に関する仕様が具体的になく、管理状況に違いがあるのでは。

適切な管理に向けた予算の確保は。

答 現在、自主的に自治会の管理を受ける自治会等に対応していますが、統一した仕様について前向きに検討し、予算の確保にも努めます。

主な意見等

●生活館は、地域に密着した施設として高齢者に配慮

した整備を構築し、地域住民の定着や統廃合を含めた施設の整備を。

調査結果のまとめ

以上の経過と意見を踏まえ、「地域公共交通計画の策定状況について」は、今後の行程等も考慮し、調査を継続することとし、「町民会館及び生活館の管理・運営状況について」は、調査を終了することとしました。



火の用心

委員会報告

経済文教常任委員会

新しい町づくりに期待

【調査日】 令和5年10月26日、11月24日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

タウンプロモーション戦略の策定状況について

調査の経過と結果

※ 説明要旨

●第2次むかわ町まちづくり計画で掲げる重点プロジェクト「タウンプロモーション推進プロジェクト」に基づき、町長をオーナーとする庁内組織「むかわ町タウンプロモーション推進プロジェクト」を発足し、今年度タウンプロモーション戦略の策定を予定しています。

●目指すべきタウンプロモーションとして、①職員・町民への浸透、②町民ブランドの醸成、③町外への認知拡大、④旅客の獲得、⑤関係人口の獲得を目指したマーケティング戦略・ブランド戦略と、実践・検証していきます。

●戦略は令和5年度始動、

令和6年度定着、令和7年度拡充としたロードマップとします。

●今後の取組として、①ワークショップの開催（まちの魅力発掘、ペルソナ設定、ブランドメッセージ・ロゴの制作、お披露目）、②タウンプロモーション戦略の策定（基本方針）、イベント参加によるプロモーションの実践を予定しています。

主な質疑と回答

問 まちの魅力発信には観光協会との連携が重要なポイントと思われるが。

答 戦略策定の中で協議したい。

問 これまでのタウンプロモーション戦略策定に向けた経過は。

答 一つのキーワード・ロゴの必要性から基本方針を策定します。

主な意見等

● 町民の意見をたくさん聞かために若い世代のメンバー参加と小中高校生のワークショップ開催も検討してほしい。

パークゴルフ場の管理・運営状況について

調査の経過と結果

※ 説明要旨

● パークゴルフ場は、鶴川運動公園パークゴルフ場（4コース36ホール）、穂別ふれあいパークゴルフ場（3コース27ホール）を有し、管理・運営はシルバー人材センターに業務委託しています。

● 開設期間は、4月29日から11月23日までの209日間です（一部、期間又は地区等で差異あり）。

● 委託業務内容は、開設準備及び閉鎖作業、入場者の受付、使用料徴収、利用状況集計、用具貸出等、施設及びコース内清掃、コース内外の草刈り及び芝刈り、散水、エアレーション、種子散布等、芝の保護に係る作業、その他業務となります。

主な質疑と回答

問 芝生の痛みに対する技術指導面は。

答 鶴川地区のパークゴルフ場は、芝が古いことと合わせて震災以降コース自体の盛り上がりにより管理的に芝が傷みやすい。特に今年は酷暑の影響により管理が難しかった。来年以降、芝管理に向けて指導を受けながら努力していきます。

問 降水量が少なく、酷暑により例年より保護に係る作業への注意が必要だったのでは。

答 芝を短めに刈ってほしいとの要望に対応していましたが、今年の想定外の暑さに対応できませんでした。

主な意見等

● 管理にあたっては、経験・知識のある人を中心に据えて行う必要があるのではないかと。

● 町内外の利用者が利用しやすい芝生等の環境整備にきちんと力を入れてほしい。

調査結果のまとめ

以上の経過と意見を踏まえ、「タウンプロモーション戦略の策定状況については、今後の行程等も考慮し、調査を継続することとし、「パークゴルフ場の管理・運営状況について」は、調査を終了することとしました。



ナイスショット

委員会報告

復興拠点施設等整備事業Ⅰ 調査特別委員会

資材費の高騰など事業費が膨らむ心配があります。

【調査日】令和5年10月2日、20日

所管課より説明を受け、質疑応答・現地調査の後、意見を取りまとめました。

復興拠点施設等 整備事業Ⅰについて

調査の経過と結果

※令和5年10月2日

【説明内容】

(共通)

- 実施設計業務は、基本設計業務（エリアデザイン等業務）の成果品を基に、町財政負担の縮減及び持続可能な行政サービスの提供と地域活性化の実現をめざし、公募型プロポーザル方式により最適な事業者の選定をめざします。
- 町の現状や地域特性を業務に反映させる観点から、町内に本店・支店等を有する事業者が構成事業者として参画するよう努めます。
- 発注方式は、実施設計・施工・運営の一体発注（DBO方式）とし、博物館施設、温浴カフェ及びまちな

か交流拠点施設等を分割とします。

(博物館施設)

- 既存博物館施設の改修も対象とし、施設運営に関し、資料の収集・保存、調査・研究、教育・普及業務は町職員による運営を継続します。

- ミュージアムショップ等は民間事業者のノウハウ・創意工夫等を活用した運営業務委託とします。

- 新博物館の延床面積は920㎡以上とし、展示室の面積は最低400㎡以上とします。

- 建物の完成は、令和8年3月末、運営期間を10年間とします。

- 事業上限額（税込）は、実施設計3、850万円、実施設計以外12億3、200万円とします。

- 参加資格要件として、過

去10年間に1、000㎡以上の科学博物館若しくは自然史博物館等の新設又はリニューアルの実績を有するものとします。

(温浴カフェ及びまちな なか交流拠点施設等)

- 事業対象施設は、温浴カフェ・まちなか交流拠点施設・RVパークの新設のほかアースギャラリーの改修とします。

- 建物の完成は、令和7年3月末、運営期間を10年間による指定管理者制度による運営とします。

- まちなか交流拠点施設は、現在多目的スペースとして使用するモバイルハウス（7棟）とサテライトオフィスとして使用するモバイルハウス（3棟）活用し、移設・改修を基本とします。

- 事業上限額（税込）は、実施設計1、870万円、実施設計以外は5億9、400万円とします。

(スケジュール)

- 令和5年9月22日公募型プロポーザルの告示。

- 令和5年12月8日最適提案者の決定。

- 令和6年度末、温浴カフェ完成及びまちなか交流施設完成。

- 令和7年度末新博物館完成。

主な質疑と回答

問 博物館の附帯事業における事業収入が本来の博物館業務に影響する懸念は。

答 受付等・ミュージアムショップ等は民間事業者が行うが、学術的な部分は学芸員が対応することから区分けされることから影響はありません。

問 資材高騰等で事業費が膨らんだ場合の対応は。

答 人件費・資材等々の高騰で事業費も注視しなければなりません。その時点で協議することになります。

問 博物館魅力化推進会議からの提案をどのように取り扱っていくのか。

答 提案内容を、実施方針、要求水準書に反映しており、地元の意向も十分含んだ形の中での発注ということになります。

魅力化推進会議には町職員も参加しており、実施設計業務及び建設工事監理業務においては、町が指定するものの監修を受けることとなります。

問 地域住民への説明と住民との協議、地域協議会で出された意見の集約は。

答 具体的なものが出てないことから地域住民への説明は行っていませんが、地域協議会で概要を説明しています。また、最適提案者が決まり、提案内容が明らかになった時点で、地元へ

の説明は行う考えです。

問 地元業者が参画できる見通しは。

答 地元業者が参加できる仕様としています。

問 町からの発注経験、事業実績等は。

答 資格は、令和5年・6年の2か年の登録となり新たな事業者が参画できないが、運営の事業者はこれから参加資格申請で参加できます。

問 発注を分けたことによる建物の統一性は。

答 統一性はなくなった可能性はあるが、連携して協議を進めることとなります。

主な意見等

● 地元業者を活用するともに、地域住民等の要望を取り入れてほしい。

● 事業費の問題は予定する金額以内で進めるということと強く求めることが大事である。

● 予算に関し、このような時代背景において慎重な行政対応を求めたい。

※ 令和5年10月20日

本件は、復興拠点施設等整備事業エリアの現地調査を行い、委員間での意見交換を行いました。

主な意見等

● 穂別町時代の歴史の中で「化石のまち」コンセプトでまちおこしを行ってきた経過及び歴史を検証する必要があるのでは。

● 道民の森を含めたまちなか再生事業とのタイアップが必要では。

● 地域住民の話を十分聞いた上で取組計画に基づいた検討をすべきである。

● 地形及び住民の苦勞を意識した拠点整備とすべきである。

調査結果のまとめ

以上の経過と意見を踏まえ、今後の行程等も考慮し、調査を継続することとする。



輝け未来

議 会 報 告 会

令和5年11月14日（火）穂別町民センター、
15日（水）産業会館にて開催しました。

「議会報告会は、議会基本条例にて年1回開催することが規定されています。」新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昨年までリモートによる開催でしたが、4年ぶりに対面式で開催し2時間にわたり熱心に意見交換をしました。参加者からの質問・意見等は紙面の都合上要点のみ掲載します。

11月14日（火）穂別地区 質問・要望等（16名参加）

「町政に関すること」

- 1、町民の立場に立った緊急時の情報を
- 2、穂別市街道道歩道の落葉掃除
- 3、現在の博物館の不具合箇所の修繕等
- 4、婚活事業の実施
- 5、科学肥料農薬に依存しない農業経営の検討

- 6、幅広い世代を対象とした食育の普及・啓発

- 7、鳥獣被害対策における農経費の補助

- 8、林業従事における資格免許の補助

- 9、ラピダス建設に係る本町における効果

「議会に関すること」

- 住民の意見を広く吸い上げる場の設定と反映

11月15日（水）鶴川地区 質問・要望等（16名参加）

「町政に関すること」

- 1、ラピダス建設に係る本町における効果
- 2、町民が町政に興味を持たせる対策の検討
- 3、ジャンルに依じたデイスカッションの開催
- 4、観光協会と地域商社との連携及び機能強化
- 5、防災議論の継続性と有機的なネットワークの構築
- 6、特別養護老人ホームの移転、建替計画の検討
- 7、地域防災、消防組織の充実に向けた議論

「議会に関すること」

- 1、議員定数・議員報酬・政務活動費の検討
- 2、町民が町政に興味を持たせる対策の検討
- 3、ジャンルに依じたデイスカッションの開催
- 4、議員と高校生との積極的な交流
- 5、意見書の陳情団体に対する結果報告
- 6、委員会等の議会中継と工夫
- 7、防災議論の継続性・防災学習への参加
- 8、議員及び議会に対する町民への啓発



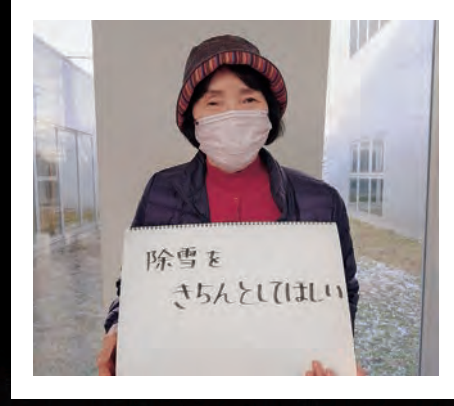
以上の質問について、町部局へ伝達するもの、所管事務調査・一般質問等整理区分し、皆さんの意見を町政に反映するとともに、議会に関することは内部で議論していきます。



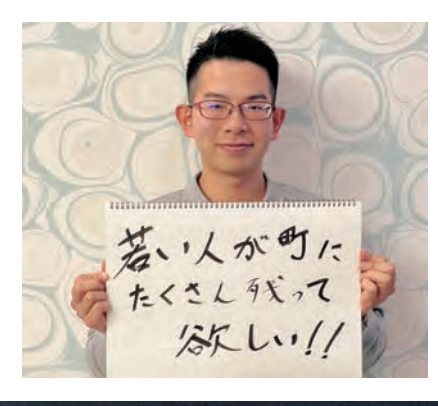
ゆ ぶ さつきさん 30代



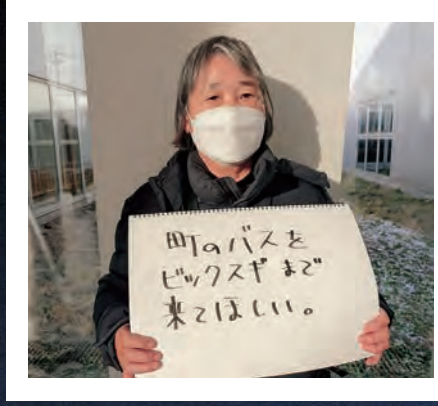
こ だま やす ひろ 児玉 裕大さん 40代



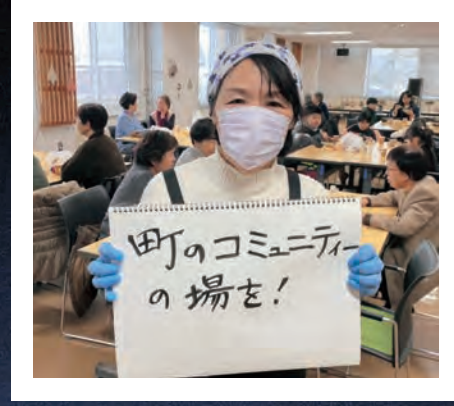
かわ もと のぶ こ 河本 信子さん 70代



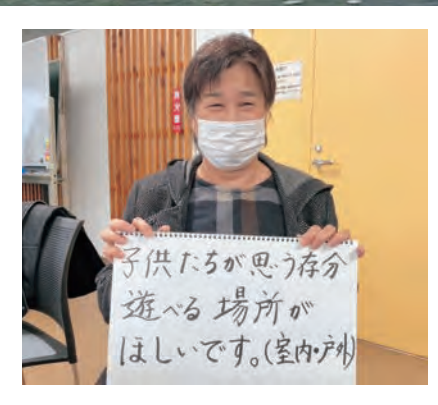
みや た よう すけ 宮田 洋介さん 20代



くま がい のぶ こ 熊谷 信子さん 70代



た なか はる み 田中 波留美さん



ご協力いただいた皆様
ありがとうございました
み かみ ゆ き こ 三上 由起子さん 60代
たか はし まさ いち 高橋 政一さん 60代

